

平成30年度全国家庭教育支援研究協議会



山口県 岩国市教育委員会 生涯学習課

information

岩国市は、山口県東部に位置し、広島県、島根県の両県に隣接しており、沿岸部は穏やかな瀬戸内海に面しています。

平成18年3月に、近隣の7町村と合併し、現在の岩国市になりました。

面積約873km²、人口約13万5千人の中規模の市です。



ちかくに
いわくに



iwakuni city



山陽自動車道【岩国インター】



JR新幹線【新岩国駅】



空の玄関【岩国錦帯橋空港】

海の玄関【岩国港】



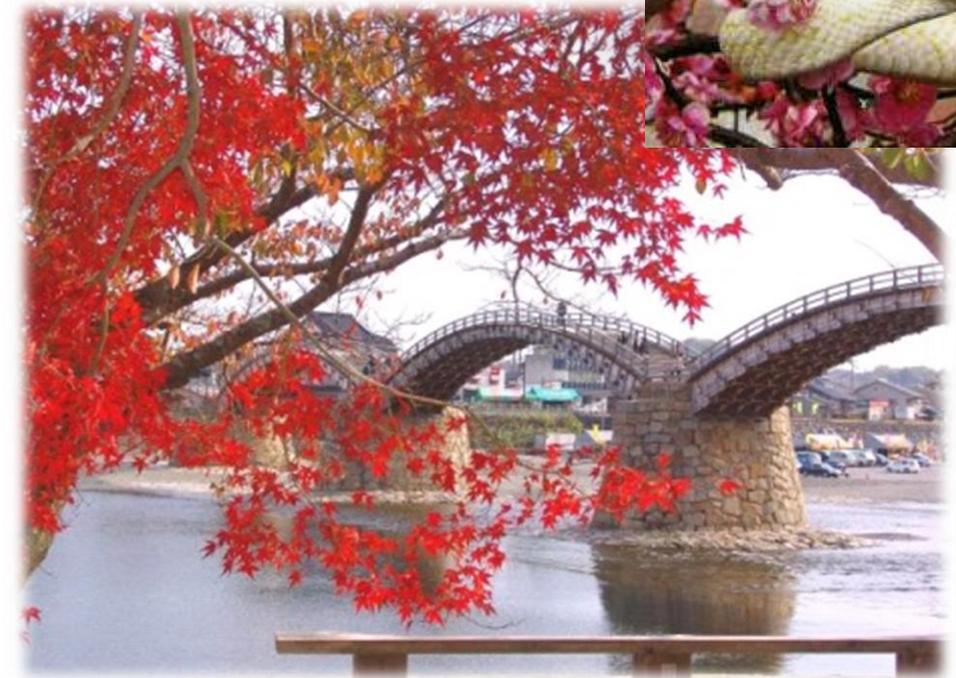
JR山陽本線【岩国駅】



日本三名橋 錦帯橋

国の天然記念物
岩国のシロヘビ

岩国の銘酒



家庭教育・子育ての現状

社会情勢と背景

社会情勢

少子高齢化・核家族化

地域とのつながりの希薄化

家庭教育の困難さ

経済的な格差・貧困

人口減少・都市化・過疎化

子どもの問題

ネット依存・SNSの拡散

不登校・不登校傾向

いじめ

コミュニケーション能力の低下

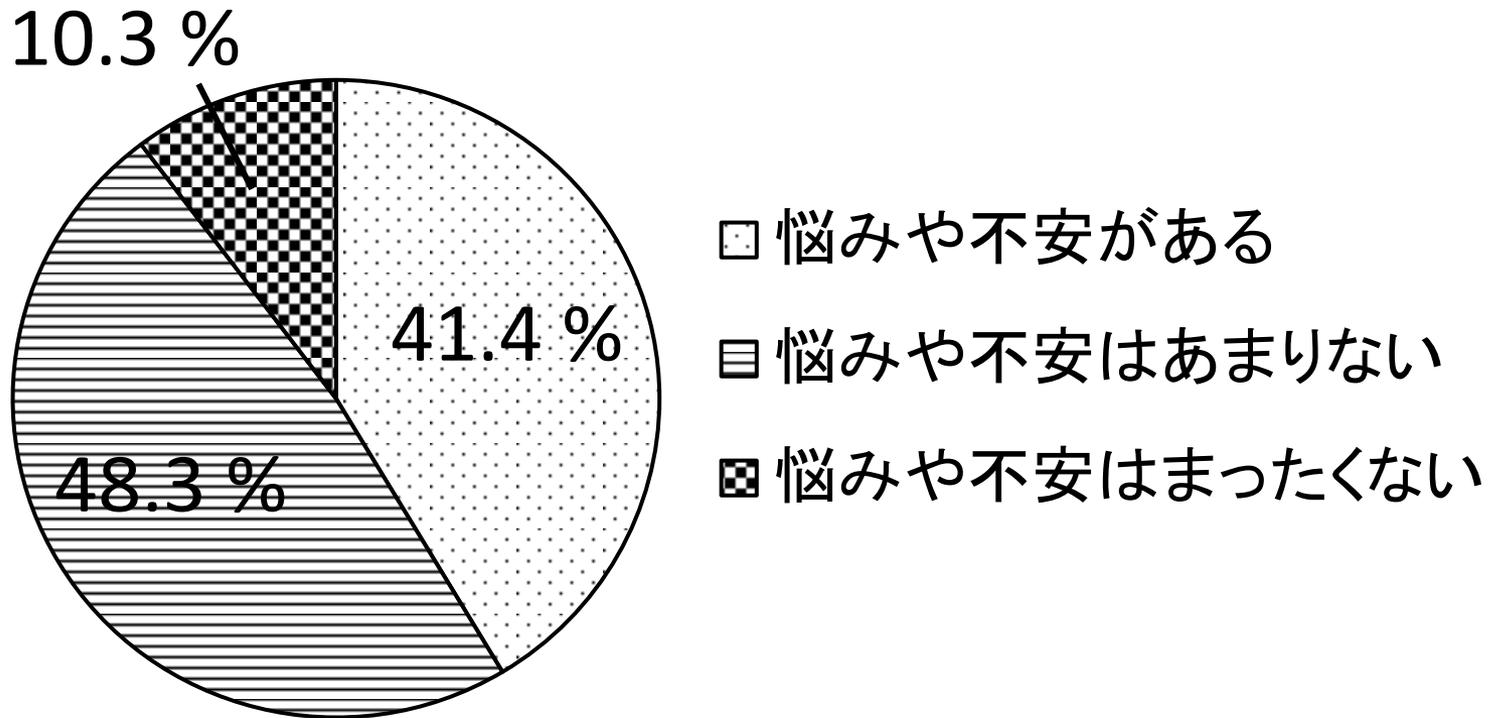
体験活動不足・体力の低下

家庭の課題

家庭教育・子育ての現状

○約4割の保護者が子育てに悩みや不安を抱えています

子育ての悩みや不安

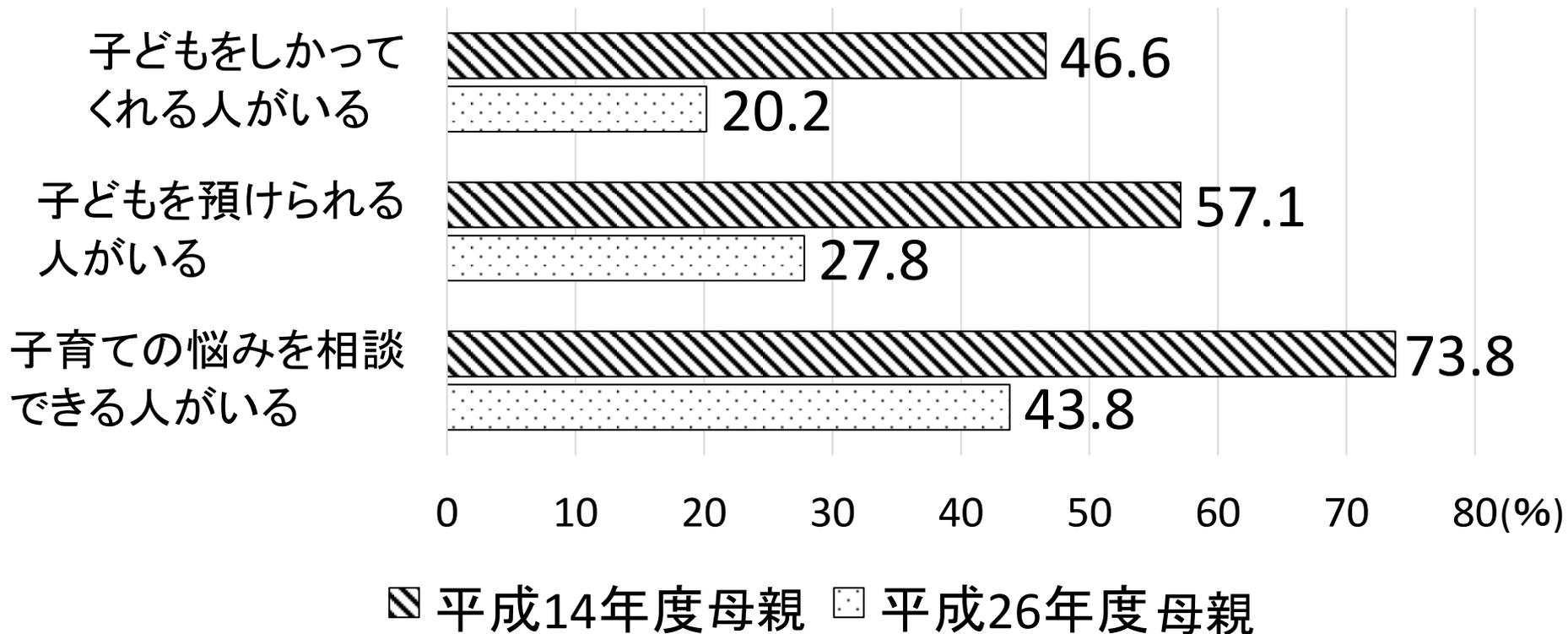


文部科学省委託調査「家庭教育の総合的推進に関する調査研究～家庭教育支援充実のための実態等把握調査研究～」(平成28年度)

家庭教育・子育ての現状

○地域のつながりが希薄化しています

地域の中での子どもを通じた付き合い

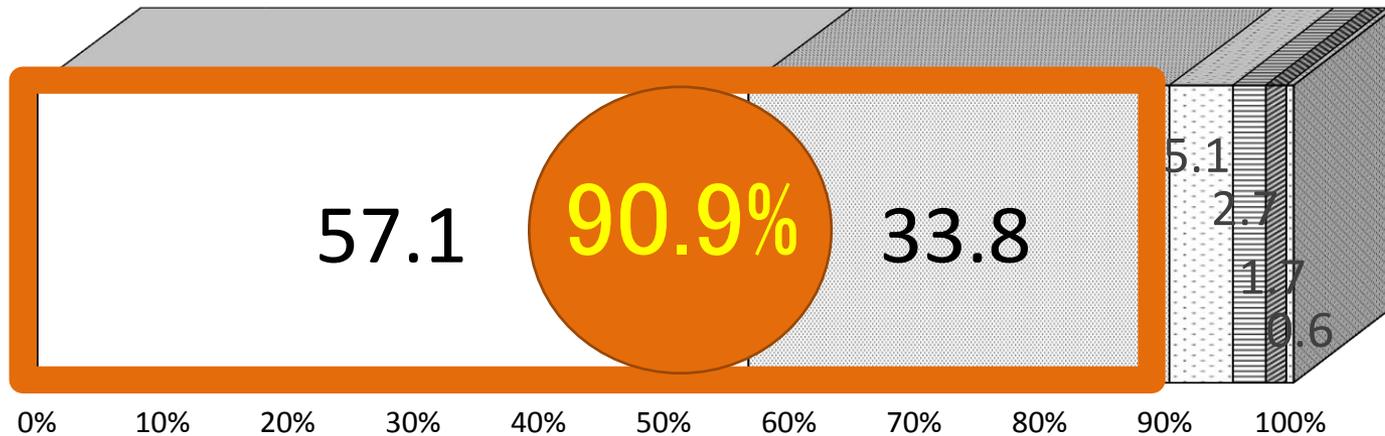


(株)UFJ総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究」(厚生労働省委託調査)(平成14年度)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子育て支援策等に関する調査研究2014」(平成26年度)

家庭教育・子育ての現状

○約9割の保護者が子育てについて地域の支えが重要だと思っています

子育てする人にとっての地域の支えの重要性



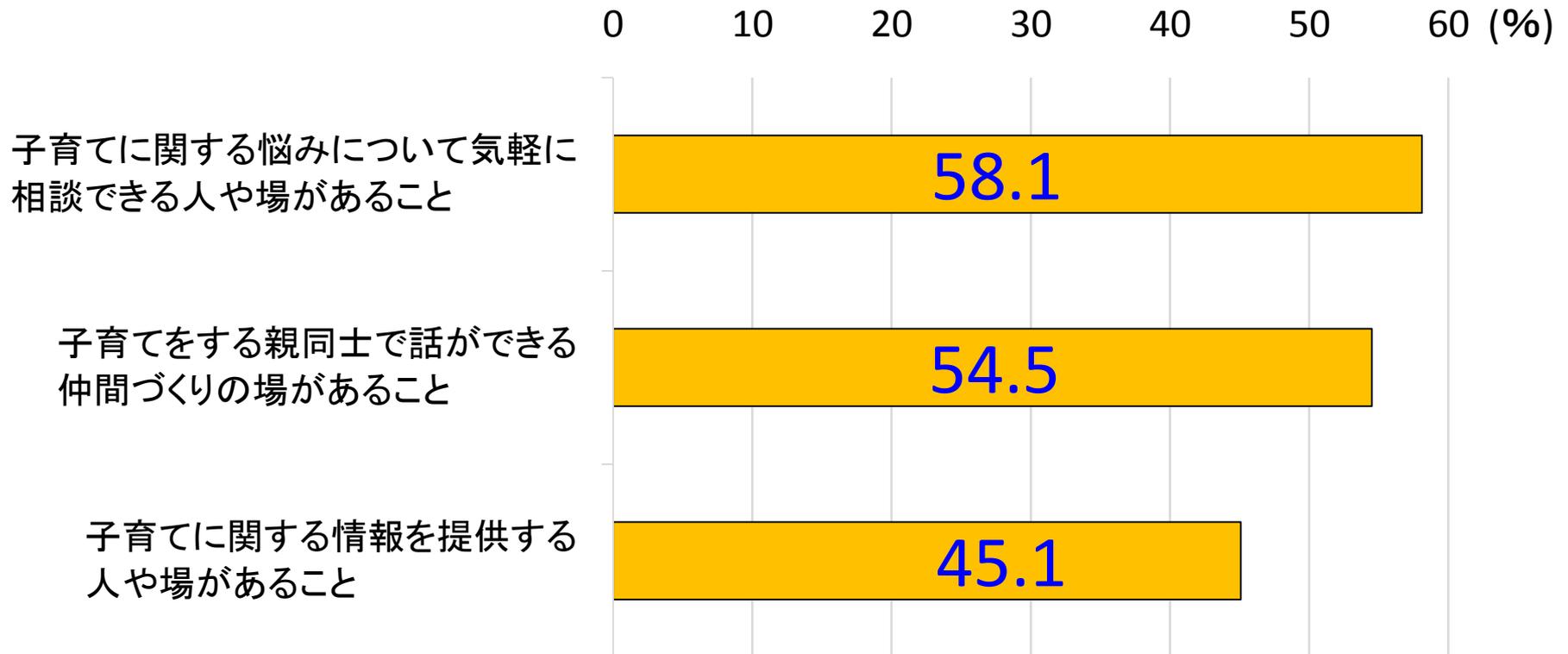
- とても重要だと思う やや重要だと思う どちらとも言えない
 あまり重要でないと思う 全く重要ではないと思う 分からない

内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」(平成25年度)

家庭教育・子育ての現状

○多くの人が子育てに関する相談や交流のできる人や場があることが重要だと思っています

地域で子育てを支えるために重要なこと



内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」(平成25年度)

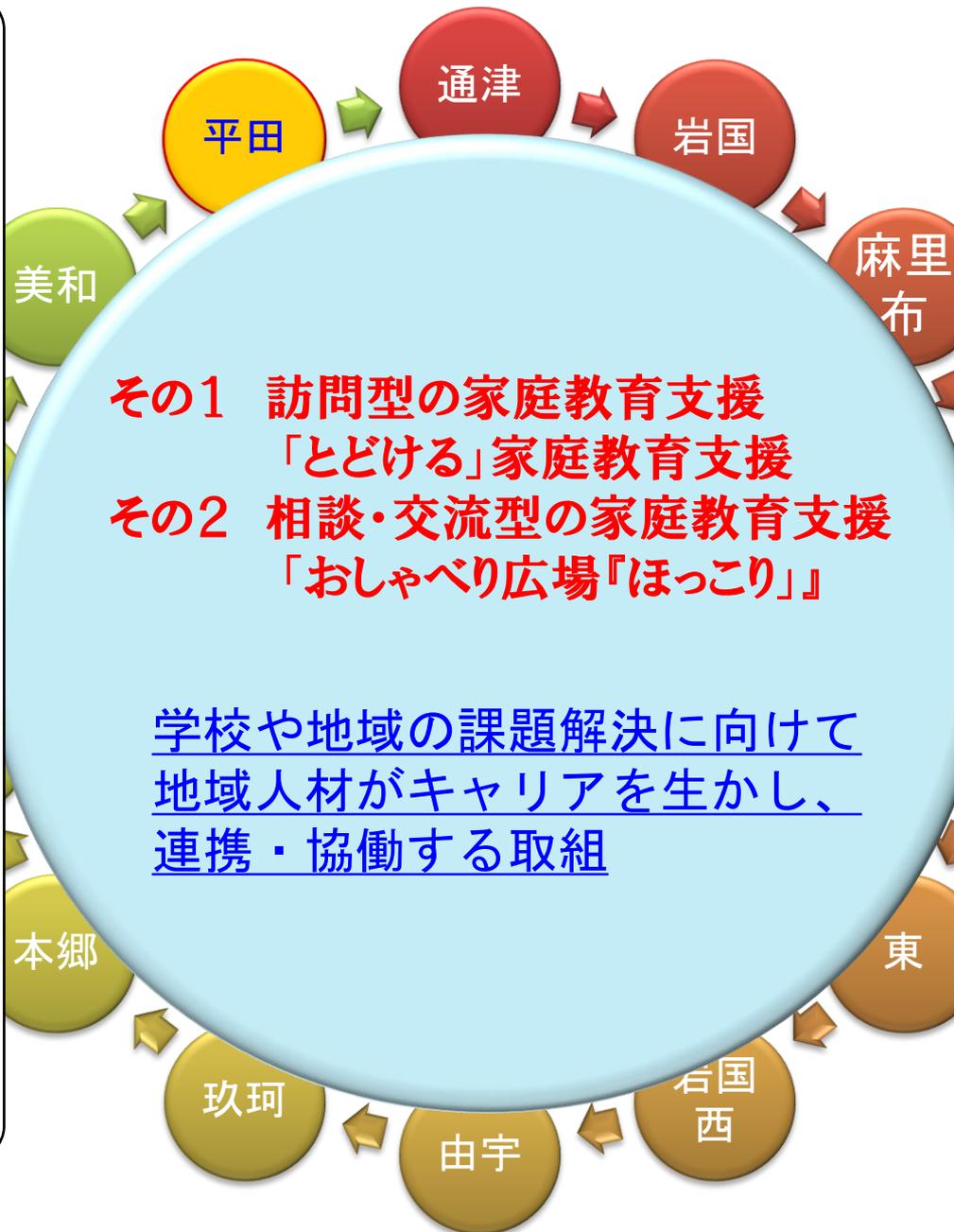
岩国市の
児童生徒
約9800人

小学校 32校
児童数
約6600人

中学校 14校
生徒数
約3200人

不登校
児童生徒
(病気欠席も含む)

約200人



コミュニティ
・スクール
地域協育ネット

地域教育資源

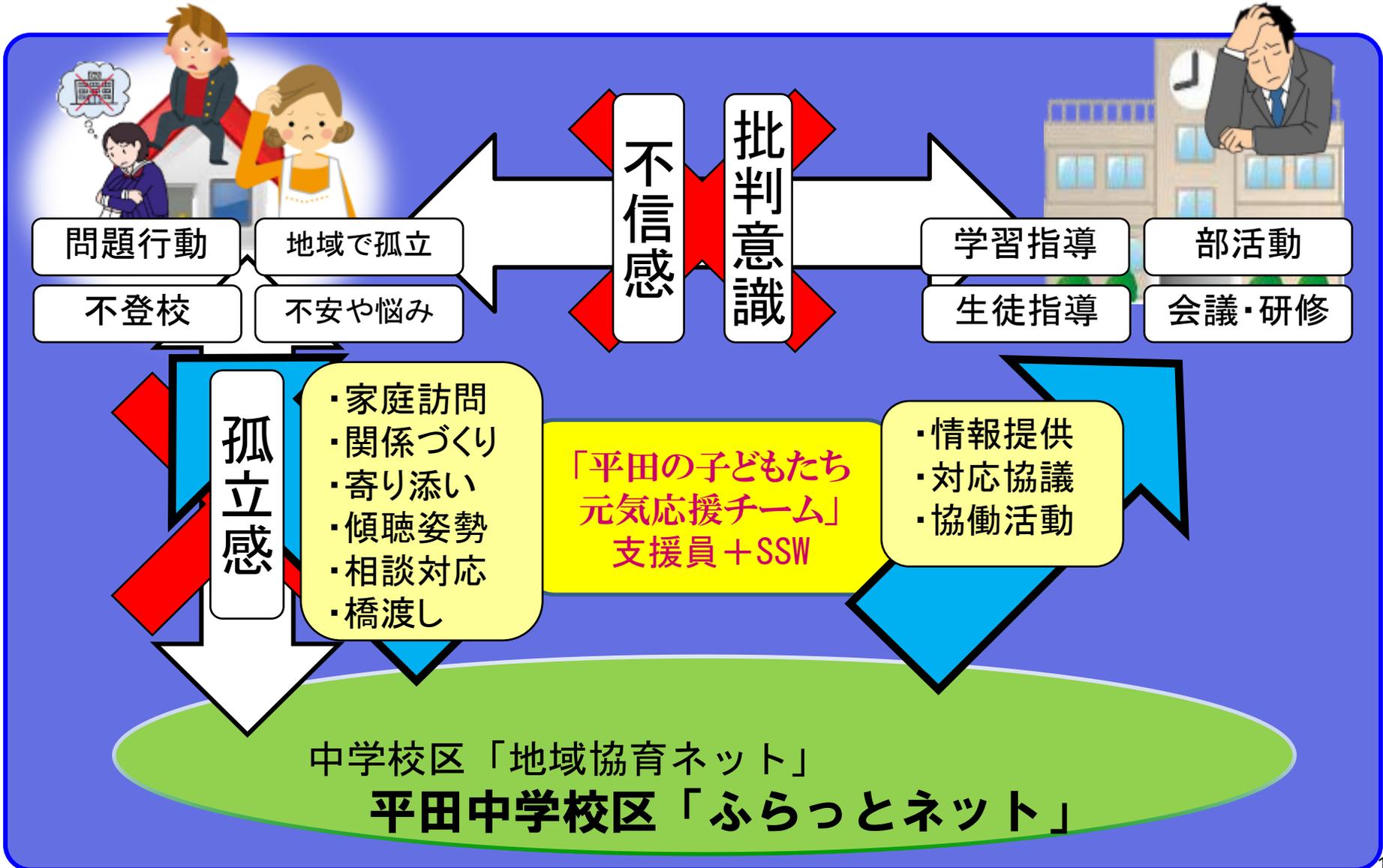
人 材
自 然
伝統文化
企 業
教育施設

学校と連携して
の家庭支援は
こども支援

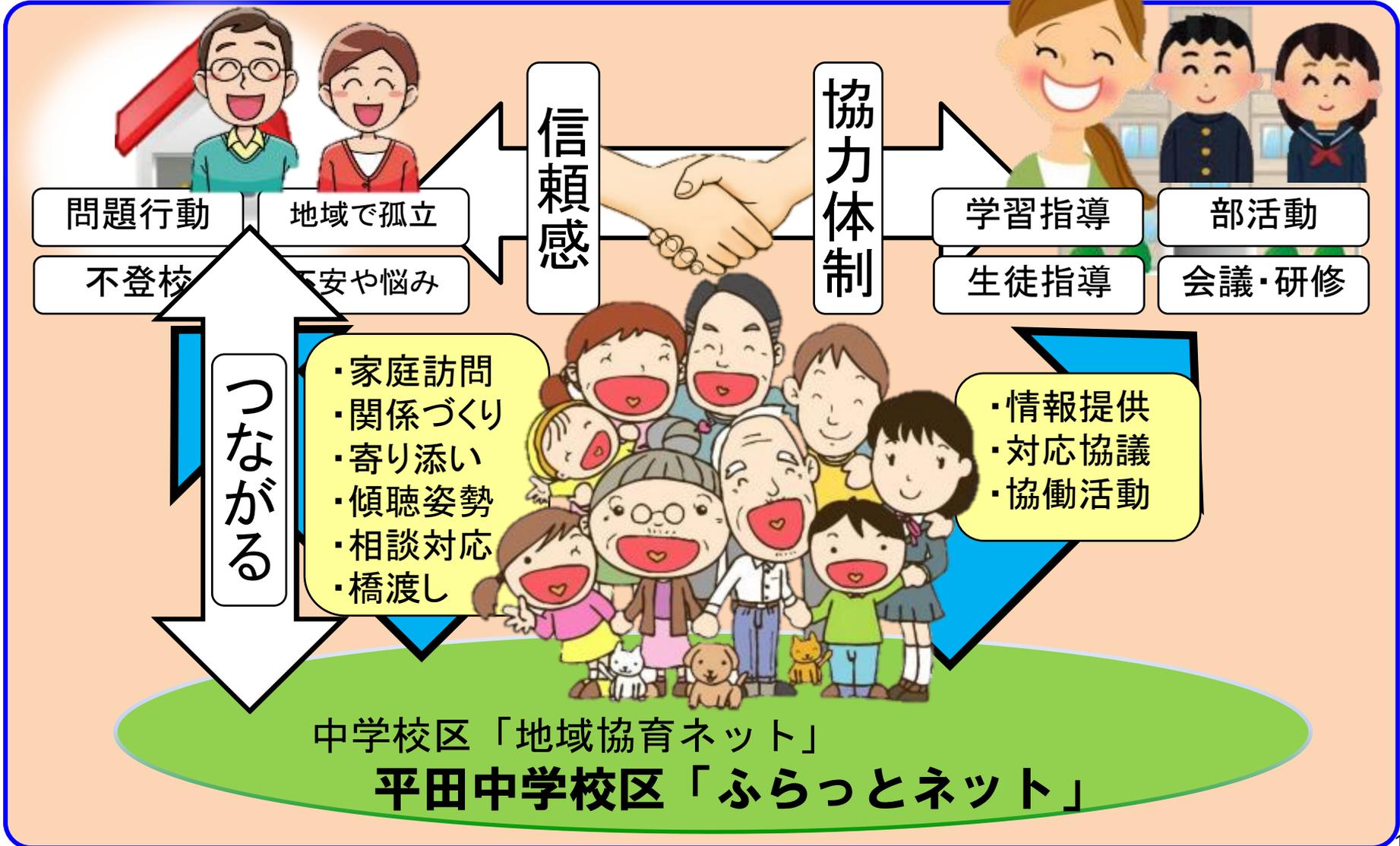
事業の取組

はつらつ「山口っ子」

「とどける」家庭教育支援事業【岩国市】
平田の子どもたち元気応援チーム



「とどける」家庭教育支援事業【岩国市】
 平田の子どもたち元気応援チーム



訪問型家庭教育支援の類型化に係るイメージ図（文部科学省作成※）

（※家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会報告書（H29.1）掲載図を一部修正。）

<p>全ての家庭対象</p>  <p>全ての家庭</p>	<p>不登校対象 非行対象</p>  <p>全ての家庭</p> <p>ネグレクト対象 育児不安対象</p>	<p>中1 保護者対象</p>  <p>全ての家庭</p> <p>小1 保護者対象</p>	 <p>各エリアごとのメニュー</p> <p>全ての家庭</p>
<p>ユニバーサル型</p>	<p>ターゲット型</p>	<p>ベルト型</p>	<p>エリア型</p>
<p>「面」の支援</p>	<p>「点」の支援</p>	<p>「帯」の支援</p>	<p>「区」の支援</p>
<p>全戸訪問（全ての家庭を訪問の対象とする）を行う。</p>	<p>具体的な課題を抱える家庭を訪問の対象とする。</p>	<p>対象年齢を限って全戸訪問を行う。</p>	<p>地域ごとの特徴に応じた訪問支援のメニューを設定する。</p>
<p>○メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 全戸訪問のため保護者に受け入れられやすい。 問題の未然防止、早期発見につながりやすい。 	<p>○メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭の問題状況に応じた支援ができる。 課題が明確で訪問支援員の専門性を発揮しやすい。 	<p>○メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の家庭にはユニバーサル型支援のメリット。 相談内容の事前想定が容易。 乳幼児健診のように支援対象者別のスクリーニングが可能。 	<p>○メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体内の実態調査の結果等のデータを活用し実状に応じた支援が行いやすい。
<p>○デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 規模の大きな自治体で行う場合の財政的負担、訪問支援員の確保が課題。 	<p>○デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 受入れ側に具体的な課題がないと動きにくい。 問題解決型の支援になりがちで、家庭教育支援の領域での対応が難しい。 	<p>○デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象となる年齢が限定される。 必要に応じて継続的支援につなげる体制が求められる。 	<p>○デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象地域の受入れ体制を構築する必要がある。 支援メニューを個別に設定することが必要。
<p>○取組事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山県湯浅町 等 	<p>○取組事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道釧路市 大阪府泉大津市 和歌山県橋本市 茨城県高萩市 <p>等</p>	<p>○取組事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府大東市 鹿児島県いちき串木野市 等 	<p>※都道府県内の特定の自治体で実施、市町村内の特定の校区で実施（英国では、剥奪指標〔地域の貧困の水準を指標化したもの〕を用いたエリアマップを作成して関係者が共有することで地域の特性に応じた支援を展開している）</p>

「とどける」家庭教育支援事業【岩国市】
平田の子どもたち元気応援チーム

訪問型家庭教育支援の活動

◆メンバー

- 支援員 6名

(元小・中学校教員、元保育士、民生委員・児童委員、保健師)

- SSW(スクールソーシャルワーカー)

※教育委員会より委嘱、チーム員証、個人情報に関わる誓約書、
支援家庭に関する記録簿の持出禁止

◆活動

①月 平田小 ②水 平田中 ③木 平田小

一日の活動時間2時間～3時間 午前中



「とどける」家庭教育支援事業【岩国市】
平田の子どもたち元気応援チーム

おしゃべり広場「ほっこり」の活動

◆メンバー

- ・ 支援員 6名 + 主任児童委員、保健師
- ・ SSW(スクールソーシャルワーカー)

◆活動は第3月曜日(休日の場合は第2月曜日)

開催時間10時～11時

第1学習室

交流・相談・傾聴

第2学習室

個別の悩み相談



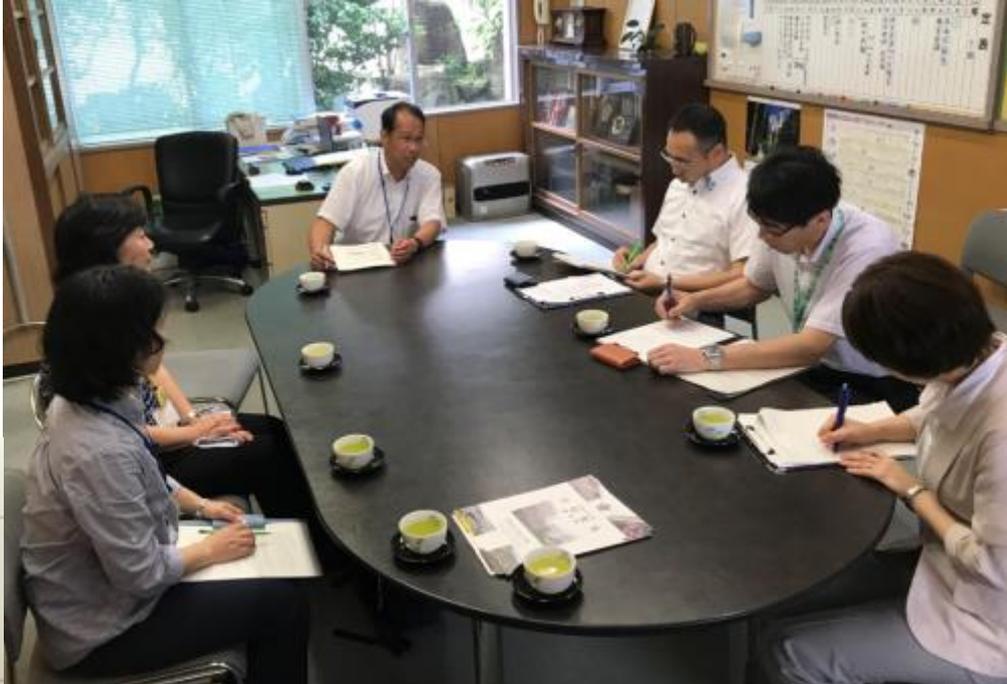
朝のあいさつ運動

登校児童と
温かい交流！



周知と連携

行事を捉えて
活動をPR!



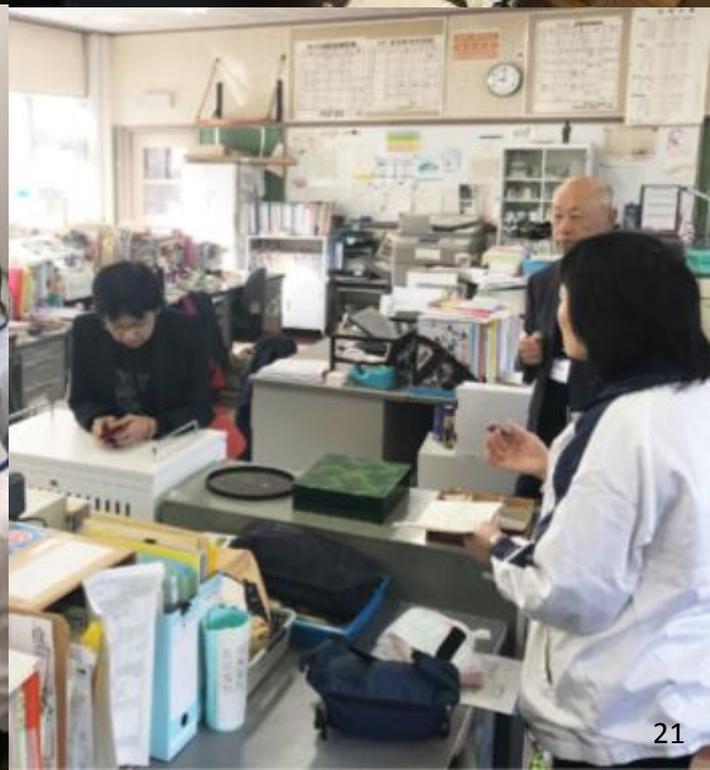
小学校1年生の全家庭を訪問

担任の先生と
支援員が一緒に！



学校と行政が協働

児童・生徒の情報を
共有し支援！



「岩国市における子育て・家庭教育支援」

母子支援・子育て支援・家庭教育支援・若者自立支援

年齢 0歳

3歳

6歳

12歳

15歳

18歳

妊娠

出産

乳児

幼児

小学生

中学生

高校生

青年

妊娠に伴う不安
・胎児の成長
・産婦人科
・経済面

養育不安
・集団不適應
・しつけ

小1プロブレム
(問題・課題)
・不登校、不登校傾向
・環境への適應

中1ギャップ
(段差・隙間)
・人間関係

家居青年
・引きこもり
・精神疾患

出産に伴う不安
・子どもの発育
・母子の健康状態
・授乳や離乳

心身の発達
・体格
・言葉や行動

10歳の壁
・他人との比較
による劣等感

不登校
・学習不信
・引きこもり

就労相談
若年出産

発達段階における子どもの問題や子育て中の保護者の悩みや不安

【こども支援課】 子育て支援・家庭教育支援にかかる相談及び支援対応

【健康推進課】
妊娠・出産・乳幼児にかか
る母子健康・子育て相談

【青少年課】
児童生徒指導上の問題及び
不登校にかかる相談対応

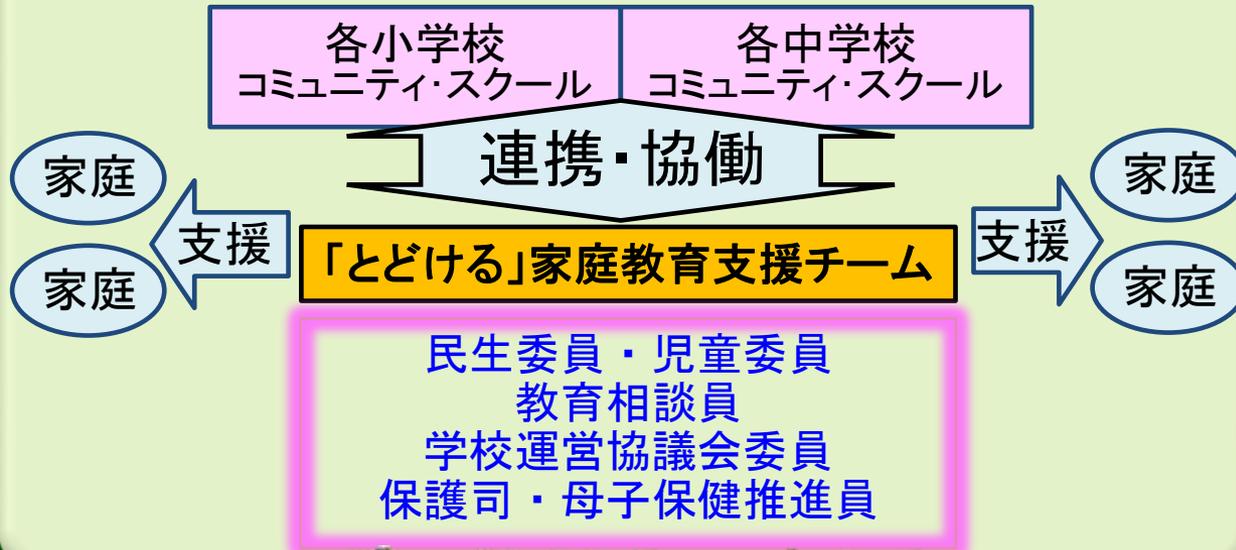
【生涯学習課】家庭教育支援体制づく
り及び人材発掘と育成

【学校教育課】
未進学・未就業の若
者
家居世帯の把握

【社会課】 経済的な支援や制度の適應

岩国市子ども元気応援プロジェクト
「とどける」家庭教育支援事業
「やまぐち型地域連携教育」

地域協育ネット（地域学校協働本部）



子ども
の育ちを
地域で
支える。
学校を
核とし
た地域
づくり

地域
の子ど
もたち
は地域
で育て
る。
地域と
ともに
ある学
校づく
り



まとめ

事業の活動・評価・成果

まとめ

具体的な活動

- あいさつ運動で保護者、児童・生徒とコミュニケーション
- 学校と情報共有し、拠点として活動
- 小学校一年生の全家庭を担任と支援員が訪問
- 不登校児童・生徒の家庭訪問(悩み相談、一緒に登校、学習支援)
- 家庭（保護者）の不安や悩みに寄り添う（傾聴姿勢）
- 訪問を記録に残して先生方と共有
- 家庭の課題解決に向けた支援（つなぐ）→学校や行政機関等

情報の共有

学校や行政（保健福祉部局）と連携

まとめ

家庭教育支援チームに関わる評価（教職員）

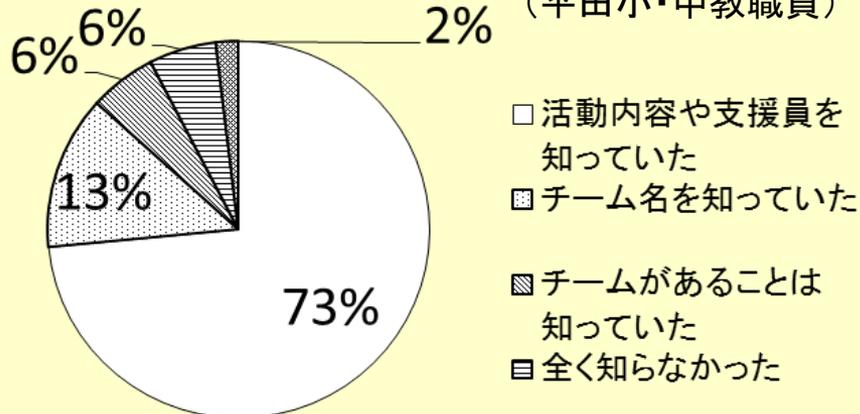
【アンケート結果より】

【周知活動】

- チラシの配布
- 行事等でチーム員の紹介
- 会議や研修会における紹介
- 市内各団体研修会で紹介
- 「はつらつ山口っ子」放映

平田の支援チームを知っていますか？

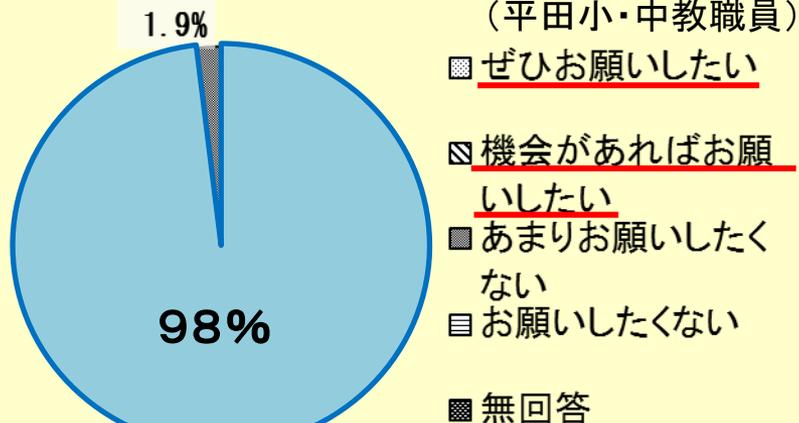
（平田小・中教職員）



平田小・中教職員H29.7実施

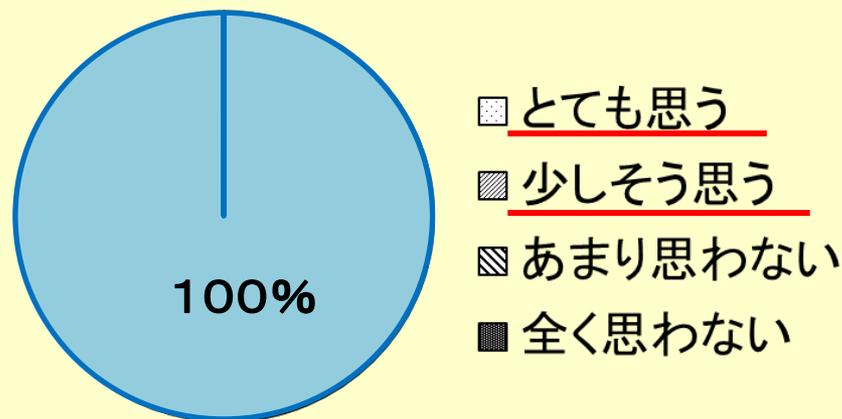
チームに支援をお願いしたいですか？

（平田小・中教職員）



平田小・中教職員H29.7実施

校区に支援チームが必要ですか？（市内生徒指導）



岩国市生徒指導主任H29.10実施

まとめ

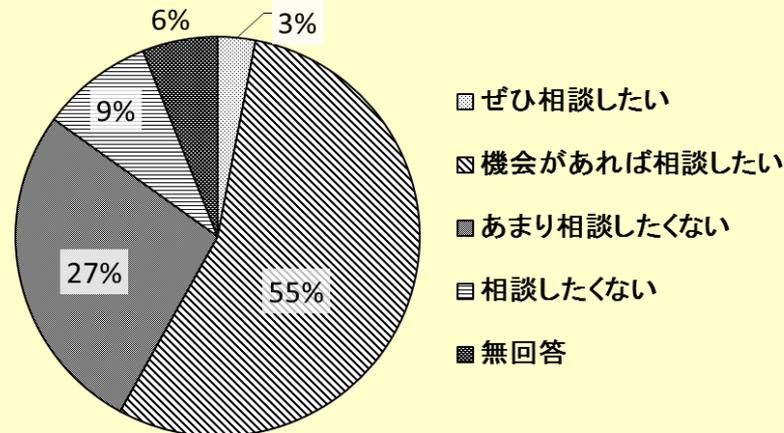
家庭教育支援チームに関わる評価（保護者）

【アンケート結果より】

【平成29年度活動実績】

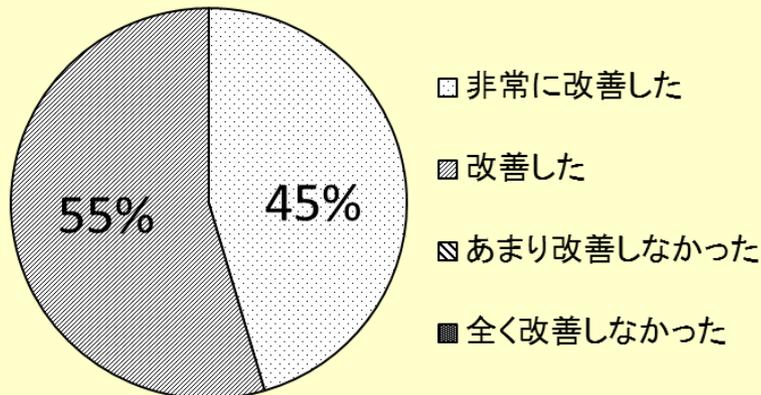
- おしゃべり広場「ほっこり」11回
- 訪問支援家庭数 24家庭(支援)
- 家庭訪問の同行 94家庭(小1)
- 学校や専門機関へ橋渡し 11件
- チーム内の会議 24回実施
- 行政（教育と福祉）連携会議2回

支援チームに相談したいですか？（保護者）



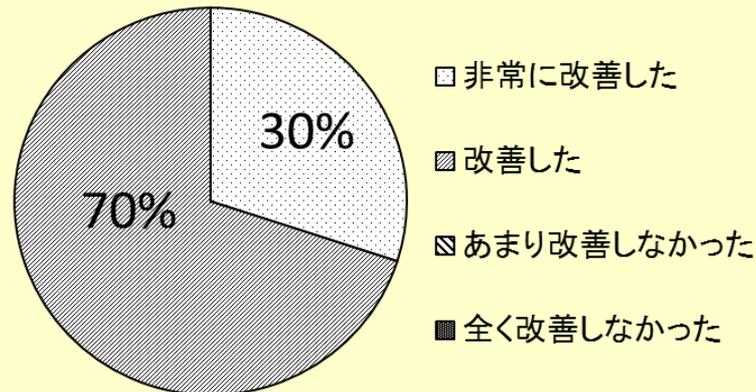
平田小・中保護者H29.7実施

支援員のかかわりで保護者の悩みや不安は改善されましたか？（支援家庭）



支援家庭保護者H29.11実施

支援員のかかわりでお子様の様子はどうなりましたか？（支援家庭）



支援家庭保護者H29.11実施

まとめ 成果

- 保護者の表情が明るくなり、訪問を待っている保護者がいた。
（登校支援を行っている児童の保護者）
- 不登校や登校しぶりの児童が登校できるようになった。
- 児童・生徒支援から家族や保護者の支援ができた。
- 課題に応じた専門機関への橋渡しができた。
- 新1年生の全家庭を訪問し周知することで支援がしやすくなった。
- 支援員のスキルアップができた。（県養成講座やSSWによる研修）
- 教職員とのスムーズな連携・協働を通して支援ができるようになった。
- 学校の教職員の多忙感の緩和につながった。

訪問を受けた方からの声

- 話を聞いてもらって気持ちやすっきりした。
- 仕事で忙しいときに、迎えに来てもらって助かった。
- 他にも同じような悩みを持っている方がいることが分かって安心した。
- 学校のことを少しわかった。





コミュニティ・スクール 地域協育ネットの充実

学校・家庭・地域が連携して、子どもの育ちや学びを支え、学校課題・地域課題の解決に向けた取組

地域教育力日本一 をめざして

